

2月の暮らし

心に子に  
心をい  
受かす  
つる  
も手入  
はつれ  
はつを

# 広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎  
発行者 川西町 印刷所 白南風社  
(町長 中村杜吉) 定価 1部5円

一人の動き  
2月1日現在

男 6.157人  
女 6.548人  
計 12.705人  
世帯数 2,618世帯



(体重測定室で)

(知能検査室で)

## 入学前の健康診断

1・27 上野小で写す

### ▽二月の行事

- 一日 田代婦人学級
- 六日 上野婦人会新旧役員会
- 七日 N.H.K.町青年学級生の全国  
放送回来町
- 八日 伊友婦人学級料理実習
- 十日 中屋敷婦人学級発表会  
千手中央青年会講座
- 十一日 中仙田老人学級
- 十二日 町議会
- 十三日 田戸老人学級
- 十五日 高原田婦人学級
- 十六日 大白倉婦人会
- 十七日 農業改善事業の研修会
- 二十日 N.H.K.世論調査(橋)
- 二十四日 三箇婦人学級
- 二十六日 橋中卒業生講座

### 就学前身体検査

ことしもまた一月末に新入学児童の身体検査がおこなわれ、かわい子どもたちがおとうさんやおかあさんといっしょに喜々として学校へ集まる風景が見られました。家族にとっちはいつまでも小さくかわいらしい幼児だったわが子が小学生になる日も近いという感慨深い日であり、子どもたちはもうすぐ一年生という希望をたしかめる意義深い日でした。

ひと昔前には親の手にしっかりぶら下がって離れなかつたり、先生の問いに泣き出す子どもなど見られたものですが、どの会場をまわってみてもみんな朗らかに元気にハキハキと先生の質問に答えたり、一人前にとびまわって遊ぶ姿が見られました。

保育所などで集団生活になれてきたこと、テレビ等、マスコミの普及で知識をたくさんとり入れていることなどその原因といわれるかもしれません。

今春の入学児童数は

### 今月の話題

合計二二三人となっております。オラたちのときは一組六〇人をおえていたし、組の数ももっと多かった、昔をしのびながら語り合うつきそいの父兄もありません。一太郎、六男、一兵衛、八女、などというのも少なくなりました。年々入学人口は少なくなる傾向にあります。

ざっと見まわしたところ児童数がすこしすぎて、学校の統廃合という問題が討議されなければならぬ時代もやってくるようです。

これは全国的、全県的な問題になっていて、県内でもボツボツその動きが出ています。

先の話したから問題にしなくていいというのではなく、教育百年の大計として頭の中に入れておかなければならぬ問題でしょう。

通学距離の点はスクールバスを冬期寄宿舎の完備をとか、次代の子どもたちがより幸せに、より教育効果があるようにと、夢を今がら育てておきたいの思います。

# 町議会報告

## 給与関係条例を議決

### 町長病欠席の初議会

ことしの初議会、第一回臨時会は一月十三日に招集され、会期一日で収入役の選任、給与関係条例の改正等合計十一件を議決した。

昨年の暮れ以来休養中の中村町長も、この日は三時間程度出席して年頭のあいさつを述べる予定であったところ、無理をしないほうがよいという医師の意見にしたがつて出席を見合わせたので、出口助役が代わって議案の説明、質疑の答弁にあたった。

### 根津収入役を再選

根津収入役は、昭和三十六年二月押木前助役のあとを引き継いで就任以来満四年を迎え、一月三十一日で任期が満了することになった。よって、再び同氏を任命したいというので議会で同意を求めたもので、出口助役から「根津氏は、非常にまじめで、かつ模範的な収入役事務を執行しているの」で、同氏を再び任命したいから、ぜひ議会の同意をお願いしたいという町長の意向である。

と提案趣旨の説明があった。これに対して、質疑・討論省略の動議が提出されて、根津氏再任に同意を議決した。



この議決のあとで根津収入役は

要旨次のようなあいさつを行なった。

「過去四年間町長さんはじめ皆さんの指導とご協力を得て重責を果たし得たことを感謝申し上げますとともに、本日また再任の議決をいただいたに責任の重大さを痛感している。

昭和四十年度は国の財政計画に伴って地方財政の悪化が深刻な問題となつてゐる。川西町の財政も特別会計の赤字補填その他の問題ををかかえ、才入のひび悩みと増大する財政需要に対処していかねばならない。

この際私も心を新たに、会計職員と協力し、間違のない仕事をモットーに町政発展のために寄与したい。」

### 給与改定は九月から

人事院勧告に伴う職員の給与改定については、年末の議会においても一般質問等での方針の一部が明らかにされたが、その後、県から改正率も示され、勧告とおり九月一日にさかのぼって実施することとなり、この議会に提案された。

これによって本俸のベースアップは平均八、九パーセント、手当として期末手当二回分〇、二月分勤働手当〇、一月分が増額される。

この条例については、通勤手当の件、二表運用の問題等について質疑があったが、全員異議なく原案どおり可決された。

なお、一般職員に準じて三役・教育長・議会議員についてもそれぞれ報酬・給与改定の条例が提案され、いずれも原案どおり可決された。

改定額は次のとおりである。

- ▽三役給与(カッコン改定前の額)
  - 町長 六八〇〇〇 (六〇,〇〇〇)
  - 助役 四八〇〇〇 (四二,〇〇〇)
  - 収入役 四六〇〇〇 (四〇,〇〇〇)
- ▽教育長
  - 四〇,〇〇〇 (三六,八〇〇)
- ▽議会議員
  - 議長 一五,〇〇〇 (一〇,〇〇〇)
  - 副議長 一三,〇〇〇 (八,〇〇〇)
  - 議員 一〇,〇〇〇 (七,〇〇〇)

なお期末手当についても、それぞれ一般職員に準じて〇、二月分増額された。

### 農業共済条例の改正等

ほかに、農業共済条例の一部改正一件を可決、請願二件が所管委員会に付託された。

農業共済の会計については、昭和四十年四月から地方公営企業法に基づく企業会計の方法を採用することとなつていたところ、町の会計との関係その他の事情からなお当分の間現在の官庁会計と

## 戸籍の窓から

### うぶ声—御すこやかに

- 高橋 真澄 力夫長女 高原田
- 田村 清志 伸夫長男 鶴吉
- 星名 理子 由松長女 伊友
- 相崎 勝 守太二男 沖立
- 北村 了一 準一長男 東善寺
- 小林 千明 寅治長女 上町
- 関口 丈晴 晃 長男 神社町
- 若山 隆夫 昭治二男 新町
- 小林 繁男 貞雄長男 元町
- 小林 直子 可生長女 元町
- 中川 咲子 俊男長女 仁田

### 昇天—御めい福を祈る

- 入澤 貞蔵 上野 九三
- 相崎 トイ 沖立 八四
- 丸山 カツ 木島 七六
- 山口 繁司 仁田 七一
- 半田 研作 壺島 七〇
- 登坂 俊治 岩瀬 六九
- 中條 利政 岩瀬 五一
- 南雲 トメ 中仙田 六一
- 上村 徳一 上野 四四

- 渡邊 祐志 幸雄長男 仁田
- 田口 正則 秀正長男 木落
- 南雲 弘文 繁 長男 中仙田
- 高橋 裕子 恆平長女 中仙田
- 増田 靖郎 壽 長男 室島
- 星名 啓助 伊友 四三
- 高橋 敏子 室島 三〇
- たかさご—御円満に
- 新郎 高橋 蔵作 坪山
- 新郎 関口 巴 落から
- 新郎 川上 軍平 神社町
- 新郎 川嶋キヨ子 桐生市から
- 新郎 平野 信二 四郎兼
- 新郎 真壁 清子 福島県から
- 新郎 松澤 勤 上野
- 新郎 小林 敏子 東京から
- 新郎 南雲 侃 中仙田
- 新郎 草木 サメ 岩手県から
- 新郎 桑原 正榮 桐山
- 新婦 金井 富子 熊谷市から

### 米寿のお祝い

ことしは十二名

川西町社会福祉協議会(中村杜古会長)では、本年一月一日現在で呼び年八十八才になった人に米寿を記念して座ぶとん一枚ずつを贈りました。

本年の米寿該当者は明治十一年に出生された次のかたがたです。

- 仁田 吉井 サタ
- 野口 村越 菊蔵
- 木落 小幡 トヲ
- 上野 富井 ヨシ
- 元野 甲畑 熊蔵
- 元野 押木 初太郎
- 高倉 高橋 ミイ
- 越ヶ沢 川崎 ムメ
- 赤谷 高橋 又七
- 赤谷 高橋 トノ
- 小白倉 江口 コン
- 小白倉 田中 康蔵

## ぼくをお忘れなく

期日を過ぎると特典がなくなりますよ



まかし



### 昭和四十年 町政事務嘱託員

▲千手地区	中島町 佐藤 富蔵	山野田 関口 次作	永公西 南雲 一郎	永公東 高野 好美	下平 田中 藤吉	四郎兼 平野 久雄	東善寺 清水 定一	上町 丸山 荘二	中央町 高橋 松英	田中 南雲 喜平治	神社町 井上 秀吉	学校町 丸山 甲子一	中屋敷 小林 伝司	寺尾 太田 竜吉	木島 小林 準治	沖立 数藤 貞義					
▲上野地区	上野 上村 常助	新町 内山 常治郎	元町 田畑 基徳	下平 沢口 武三郎	三領 高橋 吉雄	小根岸 小海 喜三郎	田代 中島 昭	▲星名新田	橋地区 田村 文作	木落 和久 井精一	寺ヶ崎 高津 徳治	塩辛 藤巻 勇	仁田 小幡 定太郎	野口 五十嵐 鉄治	原田 丸山 康一	伊友 星名 富一	高原田 高橋 一郎	坪山 中村 金作	霜条 蔵品 茂雄	鶴吉 田村 健三	平見 市川 孫市

### 保母さんとして臨時に働きたい方へ

児童福祉施設の保母さん方がお産で休んでいる間、お子さんたちのお世話をしてくださるご意志のある方は、社会係へ登録してください。施設から申し込みがあったとき、あつせんいたします。

**勤務先** 保育所などの児童福祉施設

**資格** 次のいずれかの資格を有していること。

- (イ) 保母養成所出身者または保母試験合格者
- (ロ) 看護婦の免許状所有者

### 新潟県保母試験のお知らせ

(イ) 大学において児童福祉関係の学科を修めて卒業した者。

待遇 一日、七百二十円まで

勤務期間 十二週間前後

くわしいことは社会係へお問い合わせください。

県では次により昭和三十九年度の保母試験を行ないます。希望者は社会係に詳細をおたずねください。

一、受付期間 昭和四十年二月十日から三月五日までとする。

二、受験資格

### 贈与税の話

昭和三十九年中に他の人から四十万円をこえる価格の財産の贈与を受けた財産で一年二十万円をこえる人は二月末日(本年二月末日が日曜のため三月一日)までに税務署へ申告し納税していただくこととなります。昭和三十九年四月の改正で農地等を推定相続人の一

- 根深 丸山久一郎
- 下原 須藤 寛蔵
- ▲仙田地区
- 中仙田 南雲 俊平
- 室島 齊吉 政良
- 桐山 川崎 清栄
- 小脇 齊木 定太郎
- 高倉 高橋 孫市
- 鎌谷 佐藤 博夫

- 藤沢 佐藤 清隆
- 田戸 青木 良策
- 越ヶ沢 川崎 喜一
- 赤谷 小川 邦男
- 岩瀬 小川 富治
- 大倉 中条 文平
- 大白倉 大野 辰平
- 小白倉 江口 増之

### お年玉年賀はがきの抽せん

年賀はがきのお年玉の抽せんは一月十五日に行ない、この当せん番号は郵便局の窓口のほか、報道機関を通じて発表します。

ことしのお年玉賞品は次のとおりです。

特等 ポータブルテレビ

一等 カーペット

二等 万年筆・シャープセット

三等 せんたく糊とスポンジ

四等 封筒セット

五等 お年玉切手シート

なお、賞品の交付期間は、一月二十日から七月十九日までとなっています。

### 赤ちゃんの鼻づまり

乳幼児は、口で呼吸することがじょうずでないから、カゼにかかると、すぐ鼻づまりになって、乳のみ方も悪くなってしまふ。このようなときには、オリーブ油を綿棒につけて、静かにさしてやるか、鼻口に温湿布をしてやる、呼吸が楽になってくる。

### 火の用心

◎かまどの残り火、たき火のあと仕末には水をかける。◎練炭の取り灰は金属性のバケツに一日おいてから捨てる。◎石油コンロやストーブに油を注ぐときは必ず火を消してから、ガスストーブは寝る前に元栓をしめること。

### かわし俳壇

寺尾 高橋 葦子

ろろり火に七草粥の湯気こもり

評 ろろり火・大鍋、家内の様子まで湯気こもりに表現されている

中屋敷 白井 スミイ

敵々の微かにつつき雪の原

中屋敷 南雲 良子

除雪車の地ひき雪の動きくる

評 雪の動きくるで躍動している

中屋敷 白井 トヨ

風花の一ひら髪にとどまりし

伊友 黒島 しげ

子豚負い雪道汗にまみれけり

元町 金子 良子

露のとう日毎に砂利の兒えてきし

おおらかな雪野となりし起伏かな